

トラック輸送情報（平成15年 7月分）

平成15年 9月30日

国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課

担当：金子、荒木 内線28-315

直通 03-5253-8342

ホームページ <http://www.mlit.go.jp/>

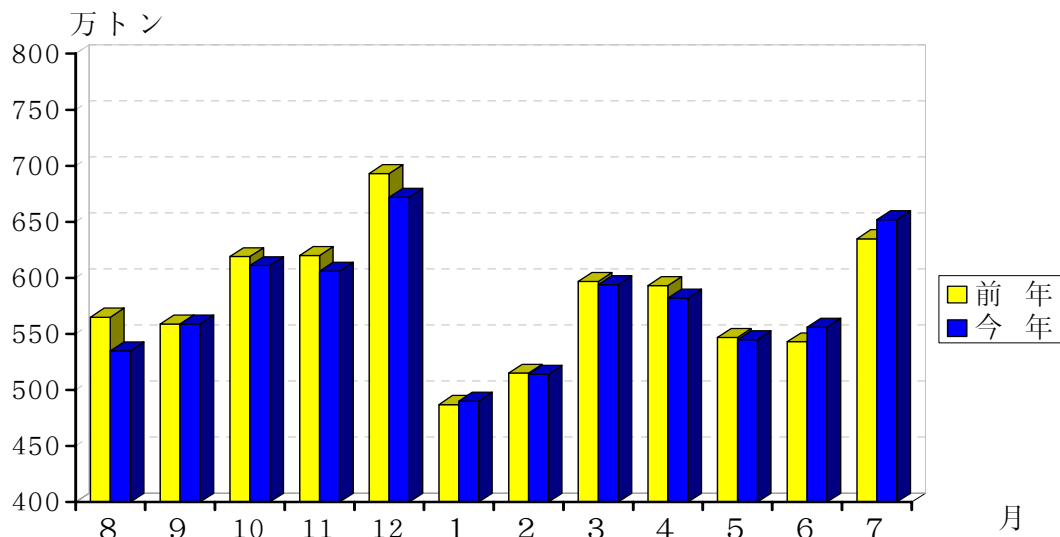
1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の輸送状況

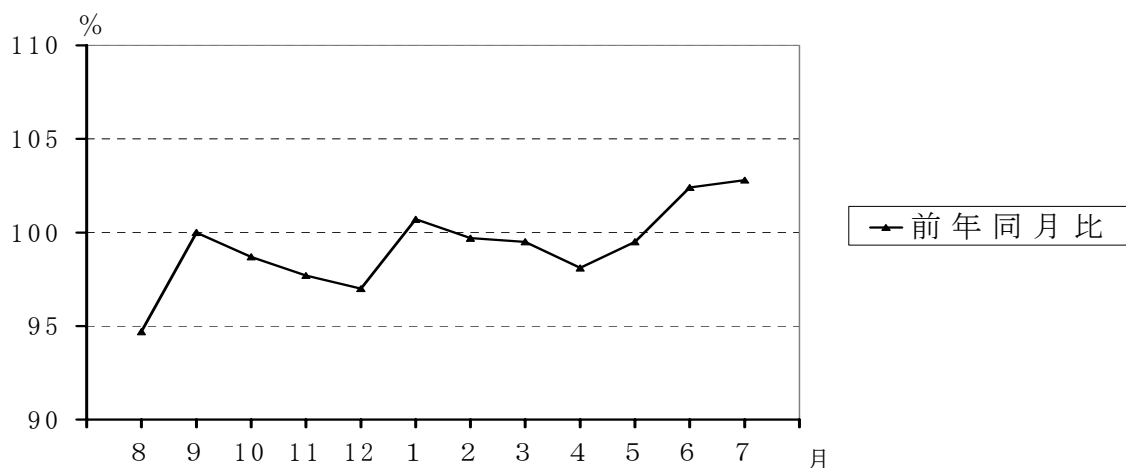
調査対象26社の本月の輸送量は6,522,284トンで、前月と比べ、総輸送量が約96万トン増加したため、前月比117.3%（季節調整済み104.6%）、前年同月と比べると、約18万トン増加したため、前年同月比102.8%の実績であった。

なお、平均稼働日数は、25.6日で、前月と比べ、0.8日の増加、前年同月と比べると、0.2日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、254,777トンで、前月と比べ、約3.1万トン増加したため、前月比113.6%、前年同月と比べると、約0.5万トン増加したため、前年同月比101.9%の実績であった。（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）26社の輸送トン数の推移



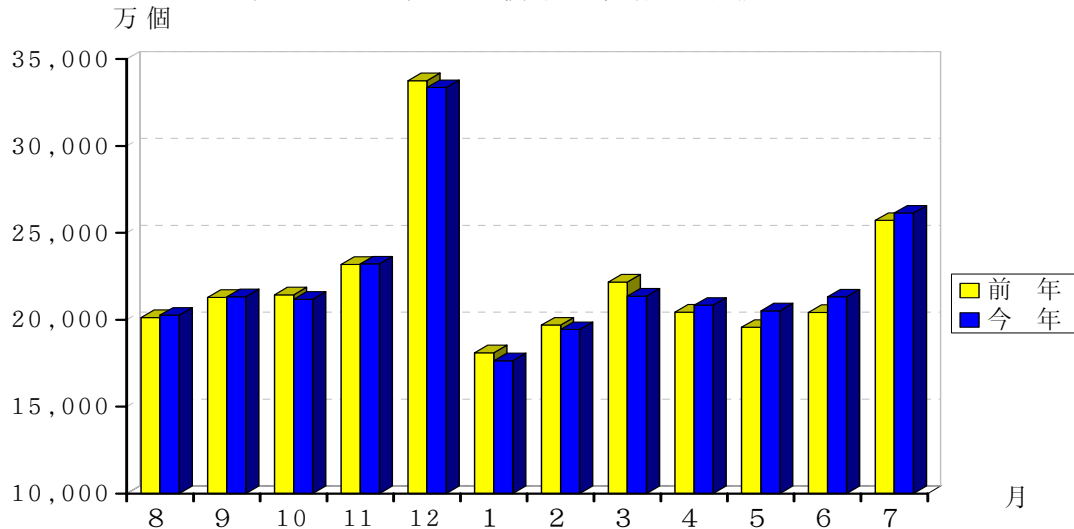
（図1-2）26社の輸送トン数の前年同月比



(2) 宅配便の輸送状況

調査対象20社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、261,461千個で、前月と比べ、約4828万個増加したため、前月比122.6%（季節調整済み 97.4%）、前年同月と比べると、約430万個増加したため、前年同月比101.7%の実績であった。（図2-1、図2-2参照）

（図2-1）宅配便取扱個数の推移



（図2-2）宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況

本月の輸送は、前月と比べ、中元期であったため、全ての品目において増加傾向にあった。中でも、食料工業品が関東、近畿、四国において、デパート、スーパー、工場・生産地及び商社・問屋からの貨物増、季節的需要増を主な理由として、その他が全国において、デパート、スーパー、工場・生産地からの貨物増、季節的需要増を主な理由として、それぞれ増加している。

前年同月と比べると、減少傾向を示す品目が多く、中でも、化学工業品が関東、近畿、中国において、工場・生産地、倉庫から出る貨物減、不況を主な理由として減少している。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 26社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品		5	10	1	1	農産物、青果物	関東	4, 8
								東北、北陸信越	4, 8
	金属製品	1	3	15	1		電気製品	近畿	4, 9
	機械		8	11	1		家電製品、機械部品、農機具	関東、近畿	4
	化学工業品	1	4	15	2		石油製品、その他の化学工業品	近畿、中国	4, 7, 9
								関東	4
							関東	4	
							愛知	4	
	食料工業品	2	8	10	1		製造食品、加工食品、飲料	関東、近畿、四国	2, 4, 5, 8
	日用品	1	11	8	1		一般貨物、身廻品、雑貨品	全国	4, 5, 7
	その他	2	8	8	2		宅配貨物、百貨店配送品	全国	2, 4, 8
									7
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品			12	5				
							青果物、畜産物、野菜、魚介類	東北、関東、北陸信越	4, 8, 10
	金属製品			16	4				
							建築用金属製品	近畿	4, 9
	機械	1	13	6					
							産業機械、家電製品、機械部品	関東、北陸信越、近畿	4, 9
	化学工業品			14	6	2			
							化学薬品、合成樹脂、窯業製品	関東、近畿、中国	4, 7, 9
								4	
	繊維工業品	1	17	5			織物	関東	4, 9
							飲料	近畿、四国	7, 8
	食料工業品	2	14	5			加工食品	関東	2, 5, 9
							雑貨品	四国	4
	日用品		5	7	9		一般貨物、書籍、印刷物	全国	4, 5, 9
	その他	2	10	8			百貨店配送品	北陸信越	2
								関東	4, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県)]単位である。

※増減要因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 874社 / 調査対象事業者数 1,091社）の輸送量は、前年同月比100.6%、前月比105.7%であった。

(表2) 地方運輸局別 前年同月比・前月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	100.6%	101.3%	98.7%	97.4%	110.1%	97.5%	97.1%	97.6%	104.2%	100.3%	111.6%
前 月 比	105.7%	108.5%	103.2%	104.4%	105.3%	103.4%	106.1%	103.9%	102.5%	108.9%	102.0%

(2) 地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、公共事業の増加により「砂利・砂・石材」等の土木建築関係資材及び農繁期による「動植物性肥・飼料」の輸送増が見られたため、対前月比108.5%であった。しかし、製紙工場の生産減、冷夏の影響による農産物輸送の減少により、対前年同月比は101.3%にとどまった。今後の輸送見通しは、次月は横ばいであるが、以降は緩やかな増加があると思われる。</p>
東北	<p>本月の輸送は、収穫時期である「野菜・果物」の輸送量増加、公共事業の発注増加による「砂利・砂・石材」「非鉄金属」「セメント」等の輸送量増加が見られたため、対前月比は103.2%と増加したが、冷夏の影響により季節的商品の需要が少なかったため、対前年同月比は98.7%であった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいの傾向にある。</p>
関東	<p>本月の輸送は、農作物の収穫に伴い「野菜・果物」の増加が目立った。また、お中元シーズンでもあり、「取り合せ品」も増加した。このため、対前月比は104.4%と大きく増加したが、対前年同月比は冷夏での農作物の減少と不景気の影響のため、97.4%と減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向にある。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、公共事業等の発注増加に伴う「砂利・砂・石材」「金属製品」「セメント」等の輸送量増加が見られたため、対前月比は105.3%と増加した。また、対前年同月比も110.1%と増加傾向を示した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横ばい傾向にある。</p>
中部	<p>本月の輸送は、お中元期に伴う「水産品」「食料工業品」「日用品」等の輸送増が見られたため、対前月比は103.4%と増加したが、建設需要の落ち込みと長雨による作業の中断等の理由により「砂利・砂・石材」、さらに「野菜・果物」の輸送減があったため、対前年同月比は97.5%と減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向にある。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、中元繁忙期及び夏期の需要により「食料工業品」「取り合せ品」、輸出入増による出荷増で「金属製品」「機械」の輸送増があり、対前月比106.1%と増加したが、対前年同月比は97.1%と減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横ばい傾向にある。</p>
中国	<p>本月の輸送は、季節的需要（お中元等）による「日用品」の輸送増があったため、対前月比は103.9%となったが、梅雨が長引いたことにより飲料水等の「食料工業品」の増加があまり見られず、また土木工事の中断により「セメント」等の土木関連品目の減少も一部の地域で見られたことにより、対前年同月比は97.6%と減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横ばい傾向であるが、冷夏の影響による輸送量の変化があるものと思われる。</p>
四国	<p>本月の輸送は、長引く不況の影響により「鉄鋼」が、また、冷夏による農作物の不作による輸送減があったものの、お中元期等の季節的な需要増により「食料工業品」「取り合せ品」「動植物性飼・肥料」の輸送増により、全体的には、対前月比102.5%、対前年同月比104.2%となった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向にある。</p>
九州	<p>本月の輸送は、お中元期の需要増として「食料工業品」「日用品」が、公共工事の受注増による景気の影響で「機械」の輸送量が増加し、対前月比が108.9%となった。一方で商社・問屋からの輸送依頼減少で、「紙・パルプ」「野菜・果物（出荷減）」「砂利・砂・石材（工事日数の減少）」の輸送量の減少があったこともあり、対前年同月比は100.3%とほぼ横ばいとなった。今後の輸送の見通しは、次月及び以降ともに下降傾向にある。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、天候の影響で入港船が減少したことから、「水産品」の輸送量が減少した。また、景気の影響で「機械」の輸送量も減少した。一方で商社・問屋からの輸送依頼増加により「紙・パルプ」が、また、季節的需要増によって「その他の農産品（葉たばこ）」「食料工業品」「取り合せ品（引越貨物）」の輸送量が増加したため、対前月比102.0%、対前年同月比111.6%となった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は上昇傾向にある。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数をとりました。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	減	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
2. 野菜・果物	増	1	7	3	1	0	0	0	1	2	0	15
	減	0	3	2	0	1	0	1	2	7	0	16
3. その他の農産品	増	2	0	2	0	0	1	0	0	4	1	10
	減	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	5
4. 畜産品	増	4	0	0	0	0	1	1	0	3	0	9
	減	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
5. 水産品	増	2	1	1	0	1	2	0	0	0	0	7
	減	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
6. 木材	増	7	1	0	1	2	0	0	0	1	0	12
	減	2	0	0	0	0	1	0	0	2	0	5
7. 薪炭	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 石炭	増	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
9. 金属鉱物	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
10. 砂利・砂・石材	増	11	3	0	2	0	0	6	0	6	0	28
	減	3	1	1	2	3	0	5	0	6	0	21
11. 工業用非金属鉱物	増	5	0	0	0	0	0	1	0	2	0	8
	減	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
12. 鉄鋼	増	3	0	0	2	1	1	3	0	0	0	10
	減	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4
13. 非鉄金属	増	0	3	0	1	0	1	0	0	1	0	6
	減	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
14. 金属製品	増	1	0	3	2	4	4	2	0	2	0	18
	減	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
15. 機械	増	0	2	2	1	3	2	1	0	4	0	15
	減	0	0	2	0	0	0	1	0	3	1	7
16. セメント	増	3	3	0	2	0	1	1	0	2	0	12
	減	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	4
17. その他の窯業品	増	1	1	1	0	1	0	0	0	2	0	6
	減	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	5

品 目		運 輸 局										
		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18. 揮 発 油	増	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	5
	減	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3
19. そ の 他 の 石 油 製 品	増	2	1	0	2	0	2	0	1	1	0	9
	減	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	5
20. コ ー ク ス ・ そ の 他 の 石 炭 製 品	増	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 化 学 薬 品	増	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	減	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
22. 化 学 肥 料	増	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
23. そ の 他 の 化 学 工 業 品	増	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24. 紙 ・ パ ル プ	増	1	1	1	0	1	0	0	1	0	2	7
	減	1	2	1	0	0	0	0	1	2	0	7
25. 織 維 工 業 品	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
26. 食 料 工 業 品	増	4	3	2	1	1	2	1	2	12	1	29
	減	0	3	3	0	0	1	0	2	3	0	12
27. 日 用 品	増	2	2	3	0	1	1	3	0	4	0	16
	減	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	9
28. そ の 他 の 製 造 工 業 品	増	0	1	2	0	1	1	1	0	1	0	7
	減	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
29. 金 属 く ず	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
30. そ の 他 の く ず も の	増	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31. 動 植 物 性 飼 ・ 肥 料	増	7	0	1	1	0	1	1	2	2	0	15
	減	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
32. 廃 棄 物	増	2	1	1	0	0	1	0	1	2	0	8
	減	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
33. 輸 送 用 容 器	増	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34. 取 り 合 せ 品	増	1	1	2	1	0	1	1	2	4	4	17
	減	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
35. そ の 他	増	0	0	0	2	0	4	1	0	0	0	7
	減	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	4